

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第15回運営委員会議事要旨（案）

- 1 日 時：令和5年9月21日（木）14時00分～14時45分
- 2 場 所：オンサイト（NTT 武蔵野研究開発センタ）及びオンライン（Zoom）
- 3 出席者：寶（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、前田、柳生、松本（狩矢委員代理）、秋山、林、真城、舟橋（星川委員代理）、安部、福島、玄地、Li、岡島、石濱
陪席者：松室（防災科研）、小松原（セコム）、小山（NTT）、柴崎（東京海上日動）、市村（東急総研）、杉山（産総研）、大貫（筑波大学）、増田（〃）、栗原（〃）、酒井（〃）、本瀬（〃）、黒川（〃）、根本（〃）

4 議事

議事に先立ち、寶会長から、開催にあたり協力をいただいた NTT 宇宙環境エネルギー研究所への謝辞が述べられた。

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

(1) 運営委員会委員の交代について

遠藤副会長から、資料1に基づき大日本印刷の委員交代について説明があり、了承された。
了承後、前田委員から挨拶があった。

(2) その他

特になし

【報告事項】

(1) 「レジリエンス研究教育推進コンソーシアム活動報告」Vol.1 発行について

遠藤副会長から、別添資料に基づき次の報告があった。

- 7月末日付けで Vol.1 発行完了（PDF 版のみ）
- コンソーシアムの活動を周知するため毎年度継続発行していく

(2) 5D-MaaS 共創拠点との共同シンポジウム開催報告（R5.9.10）

遠藤副会長から、資料2に基づきシンポジウムの参加人数やアンケート結果の集計について報告があった。

(3) JST「共創の場形成支援プログラム」本格型申請について

遠藤副会長から、資料3に基づき次の説明、及び依頼があった。

- 本格型昇格審査に向け申請書作成中（11月中旬締め切り）
- 参画を希望する機関があれば10月中旬までに一報いただきたい

関連して、次の質疑応答があった。

(寶会長) 参画時に誓約書等は必要か。

(石濱委員) 現段階では、10月中旬までに参画の意思表示のみしていただければよく、それをもって申請書に機関名を書かせていただき、その後、参画同意書のやりとりをさせていただきます。

(4) 「Security Days Fall 2023」への後援について

遠藤副会長から、資料4に基づき次の報告があった。

- 情報セキュリティ関連イベント「Security Days Fall 2023」から後援依頼があり、幹事会の承認により後援承諾回答済み

(5) その他

- ・次回運営委員会の開催地について

遠藤副会長から、次の依頼があった。

- 第16回運営委員会(3月開催予定)の開催地として協力いただける機関があれば申し出たい。なお、特に希望する機関がなければ、個別に相談・依頼させていただく

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【審議事項】

(1) R2EC 就職説明会について

岡島委員から、資料5に基づき次の説明があり、了承された。

- 各参画機関が学生に研究内容と就職情報を紹介する「R2EC 就職説明会」を企画(3月頃)
- 大学院生のみならず、リスク・レジリエンス工学学位プログラムに進学の決まった学部生を対象に加えることを予定
- 詳細は後日案内するので、参画機関の皆様に企画に参加いただきたい

(2) その他

特になし。

【報告事項】

(1) 令和5年度協働大学院教員について

岡島委員から、資料6に基づき次の報告があった。

- 日本自動車研究所・北島創准教授(協働大学院)が5月1日付着任
- 大日本印刷・佐波晶准教授(協働大学院)が6月30日付辞職

(2) 令和6年度大学院入試(令和5年度実施入試)について

岡島委員から、資料7に基づき次の報告、及び依頼があった。

- 以前より社会人から要望のあった、7月に受験し同年10月に入学できる制度(7月期入試)を開始した
- 7月期入試合格者のうち2名が防災科研・臼田教授(協働大学院)を指導教員に指名

- 1・2 月期入試に向けて、学位取得希望者がいれば周知いただきたい
- 併せて、協働大学院教員候補者がいれば推薦いただきたい

関連して、次の質疑応答があった。

(寶会長) 協働大学院教員の条件はあるか。

(岡島委員) 筑波大学の人事審査があるため、博士の学位は必要だが、その種類は問わない。

(寶会長) 1・2 月期入試の募集定員はあるか。

(岡島委員) 当該受験者が学位取得を見込めるか否かが重要であるため、定員を気にせず手を挙げていただきたい。

(3) リカレント教育推進事業について

岡島委員から、資料 8 に基づき次の報告があった。

- 筑波大学で協働大学院方式を実施する 2 つの学位プログラム（リスク・レジリエンス/ライフイノベーション）が共同で申請し採択された
- 事業実施期間は今年度のみとなるが、次年度も継続申請を検討中
- 今年度は両学位プログラム共有の社会人学生向けオンラインプラットフォームを構築し、講義・セミナーの録画等のオンラインコンテンツを置く予定
- 次年度以降は協働大学院教員によるオムニバス講義を開設検討中

(4) その他

・「大学院教育改革フォーラム 2023」開催について

岡島委員から、資料 9 に基づき次の報告があった。

- 筑波大学を幹事校として開催
- 国主導の博士人材育成プログラム（卓越大学院・リーディング大学院）が主体だが、筑波大学独自の取組みとして協働大学院が紹介される予定
- 参画機関、協働大学院教員、または修了生に個別に参加の声かけをさせていただく可能性あり

以上